



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL <https://www.n-concept.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 2023年8月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	9,020	△19.6	1,960	△21.6	2,097	△14.5	1,459	△13.9
2022年12月期第2四半期	11,212	48.4	2,499	112.9	2,452	118.8	1,695	112.9

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,711百万円(△18.9%) 2022年12月期第2四半期 2,109百万円(131.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年12月期第2四半期	円 銭 105.23	円 銭 —
2022年12月期第2四半期	122.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年12月期第2四半期	百万円 26,766	百万円 17,705	% 66.1
2022年12月期	26,177	16,237	62.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 17,705百万円 2022年12月期 16,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭 —	円 銭 17.50	円 銭 —	円 銭 17.50	円 銭 35.00
2023年12月期	—	25.00			
2023年12月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△22.0	2,670	△45.3	2,580	△45.2	1,728	△47.0	124.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期2Q	13,868,500株	2022年12月期	13,868,500株
2023年12月期2Q	679株	2022年12月期	679株
2023年12月期2Q	13,867,821株	2022年12月期2Q	13,867,821株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	増減額 (増減率)
売上高 (千円)	11,212,882	9,020,110	△2,192,771 (△19.6%)
営業利益 (千円)	2,499,250	1,960,170	△539,080 (△21.6%)
経常利益 (千円)	2,452,997	2,097,861	△355,135 (△14.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	1,695,061	1,459,339	△235,722 (△13.9%)
保有基数 (6月末時点)	9,948基	9,957基	9基 (0.1%)
稼働率 (6ヶ月平均)	75.8%	64.1%	△11.7%

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高9,020百万円、営業利益1,960百万円、経常利益2,097百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,459百万円となりました。

ゼロコロナ政策撤廃後も続く中国の内需低迷により、大量の余剰製品が中国からアジア・欧州市場に流れ込み、化学品市況が幅広く下落を続ける一方、日本のメーカーは海外に比べ非常に高い天然ガス料金や電気料金といった燃料価格の高騰もあり、多くのメーカーが減産を行った結果、日本からの輸出は大幅に落ち込みました。

当社グループの貨物輸送関連の売上高は前年同期を下回りましたが、こうしたビジネス環境においても日本国内の支店網とタンクコンテナの特色を活かした貨物の保管業務や加温業務等の附帯サービスに加え、2024年問題が来年4月に迫るなか、モーダルシフトの活用、当社全国8か所の支店を活かしたSTOCK & DELIVERYの提案による長距離輸送の削減提案を推進するなど旧来の国内輸送形態からの変更案件の獲得に注力しております。

他方、高圧ガスビジネスにおいては、昨年10月にガス・環境ソリューション部を立ち上げ、主にフロンガスを中心とした高圧ガス専門の営業部隊による業務を推進、着実に実績を伸ばしております。2017年に高圧ガスビジネスに参入以来、7期連続して売上が伸びており、当第2四半期連結累計期間における売上高は、462百万円（前年同期は437百万円）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当初業績予想に対する達成率は、売上高においては101.3%、営業利益においては147.9%、経常利益においては163.3%、親会社株主に帰属する当期純利益においては168.5%を達成するに至りました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ589百万円増加（2.3%増）し、26,766百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少（0.7%減）し、13,523百万円となりました。現金及び預金が976百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が843百万円、その他流動資産が224百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ688百万円増加（5.5%増）し、13,243百万円となりました。建物及び構築物（純額）が72百万円、タンクコンテナ（純額）が321百万円減少したものの、土地が895百万円、その他有形固定資産が161百万円増加したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ852百万円減少（18.2%減）し、3,821百万円となりました。買掛金が237百万円、1年内返済予定の長期借入金が100百万円、未払法人税等が473百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少（0.5%減）し、5,239百万円となりました。長期借入金が増加したものの、リース債務が194百万円減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,468百万円増加（9.0%増）し、17,705百万円となりました。利益剰余金が1,216百万円、為替換算調整勘定が251百万円増加したことが主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて356百万円増加し、7,530百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状

況とこれに係る要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,481百万円(前年同四半期は2,737百万円の収入)となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,097百万円、減価償却費714百万円、売上債権960百万円の減少であり、主な資金の減少要因は、仕入債務312百万円の減少、法人税等の支払額1,084百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1,751百万円(前年同四半期は189百万円の支出)となりました。主な資金の減少要因は、定期預金の純増加額571百万円、有形固定資産の取得による支出1,149百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、614百万円(前年同四半期は819百万円の支出)となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入450百万円であり、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出399百万円、リース債務の返済による支出422百万円、配当金の支払額242百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,824,240	10,801,174
受取手形、売掛金及び契約資産	3,136,992	2,293,733
その他	762,405	537,853
貸倒引当金	△100,944	△109,336
流動資産合計	13,622,694	13,523,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,384,984	1,312,817
タンクコンテナ（純額）	7,818,864	7,497,239
土地	2,195,963	3,091,776
その他（純額）	595,200	757,070
有形固定資産合計	11,995,012	12,658,904
無形固定資産	164,503	144,969
投資その他の資産	395,129	439,189
固定資産合計	12,554,645	13,243,063
資産合計	26,177,340	26,766,488
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,483,371	1,245,410
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	520,152	420,125
リース債務	837,027	841,305
未払法人税等	1,160,087	686,973
賞与引当金	44,419	47,498
株主優待引当金	2,418	—
その他	556,438	510,278
流動負債合計	4,673,914	3,821,591
固定負債		
長期借入金	1,372,322	1,523,136
リース債務	3,555,808	3,361,693
退職給付に係る負債	161,494	175,616
その他	176,716	179,042
固定負債合計	5,266,342	5,239,488
負債合計	9,940,257	9,061,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,134,781	1,134,781
資本剰余金	1,060,941	1,060,941
利益剰余金	13,610,328	14,826,981
自己株式	△581	△581
株主資本合計	15,805,470	17,022,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△730	△598
為替換算調整勘定	432,342	683,885
その他の包括利益累計額合計	431,612	683,286
純資産合計	16,237,082	17,705,409
負債純資産合計	26,177,340	26,766,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	11,212,882	9,020,110
売上原価	7,833,472	6,130,191
売上総利益	3,379,410	2,889,919
販売費及び一般管理費	880,159	929,748
営業利益	2,499,250	1,960,170
営業外収益		
受取利息	2,154	15,344
為替差益	—	93,299
受取家賃	2,730	3,136
受取保険金	3,243	66,807
補助金収入	1,887	650
その他	147	371
営業外収益合計	10,162	179,610
営業外費用		
支払利息	40,203	39,859
為替差損	15,751	—
その他	460	2,060
営業外費用合計	56,416	41,920
経常利益	2,452,997	2,097,861
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	2,453,000	2,097,861
法人税等	757,938	638,521
四半期純利益	1,695,061	1,459,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,695,061	1,459,339

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,695,061	1,459,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	131
為替換算調整勘定	414,436	251,542
その他の包括利益合計	414,666	251,673
四半期包括利益	2,109,728	1,711,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,109,728	1,711,013
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,453,000	2,097,861
減価償却費	695,902	714,429
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△295	△921
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,629	534
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,196	△2,418
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,232	14,121
受取利息	△2,154	△15,344
支払利息	40,203	39,859
受取保険金	—	△66,807
為替差損益 (△は益)	△40,605	△103,294
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△260,958	960,757
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133,405	△312,785
立替金の増減額 (△は増加)	321,225	210,813
その他	323,902	△9,739
小計	3,423,477	3,527,065
利息の受取額	2,237	15,430
利息の支払額	△40,026	△43,102
保険金の受取額	—	66,807
法人税等の支払額	△648,243	△1,084,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,737,445	2,481,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△571,385
有形固定資産の取得による支出	△189,942	△1,149,572
有形固定資産の売却による収入	428	—
無形固定資産の取得による支出	△469	△118
敷金及び保証金の差入による支出	△92	△31,267
敷金及び保証金の回収による収入	—	533
その他	120	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,957	△1,751,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,000	—
長期借入れによる収入	—	450,000
長期借入金の返済による支出	△222,163	△399,213
リース債務の返済による支出	△385,039	△422,120
配当金の支払額	△207,019	△242,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	△819,222	△614,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	202,586	240,924
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,930,852	356,815
現金及び現金同等物の期首残高	3,435,464	7,173,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,366,316	7,530,297

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. その他

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における輸送形態別販売実績は、次のとおりであります。(単位：千円)

輸送形態別	前第2四半期 連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年6月30日	前年同期比(%)
輸 出 売 上	5,189,687	3,269,668	63.0
輸 入 売 上	3,051,075	2,817,217	92.3
三 国 間 売 上	464,385	666,392	143.5
国内輸送等売上	2,198,105	1,968,722	89.6
そ の 他	309,628	298,110	96.3
合 計	11,212,882	9,020,110	80.4

(注) 1 「輸出売上」「輸入売上」「三国間売上」「国内輸送等売上」「その他」は、輸送経路による区分であります。

2 国内輸送等売上には、国内輸送に加え保管及び加温に関するサービスも含まれております。